

## 安全データシート

2016. 09.01改定

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : AJIFOL®アミノガード® 701  
 製品分類 : 液状複合肥料 (ALK液肥特1号)  
 会社 : 味の素株式会社  
 住所 : 東京都中央区京橋一丁目15番1号  
 担当部門 : アミノサイエンス事業本部 アミノサイエンス統括部  
 電話番号 : 03-5250-8155  
 FAX番号 : 03-5250-1104  
  
 推奨用途 : 肥料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類 物理化学的危険性

爆発物 : 分類できない  
 可燃性又は引火性ガス : 分類対象外  
 エアゾール : 分類対象外  
 支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外  
 高压ガス : 分類対象外  
 引火性液体 : 分類できない  
 可燃性固体 : 分類対象外  
 自己反応性化学品 : 分類できない  
 自然発火性液体 : 分類できない  
 自然発火性固体 : 分類対象外  
 自己発熱性化学品 : 分類できない  
 水反応可燃性化学品 : 分類できない  
 酸化性液体 : 分類できない  
 酸化性固体 : 分類対象外  
 有機過酸化物 : 分類できない  
 金属腐食性物質 : 分類できない

#### GHS分類 健康有害性

急性毒性(経口) : 区分4  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 分類できない  
 呼吸器感作性 : 分類できない  
 皮膚感作性 : 区分1  
 生殖細胞変異原性 : 区分2  
 発がん性 : 分類できない  
 生殖毒性 : 区分2  
 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない  
 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分2(血液系、肝臓、神経系、腎臓、呼吸器)  
 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(血液系、腎臓、呼吸器)  
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### GHS分類 環境有害性

水生環境有害性(急性) : 区分1  
 水生環境有害性(長期間) : 区分1  
 オゾン層への有害性 : 分類できない

#### GHSラベル要素



注意喚起語 : 警告

危険性有害情報 : H302 飲み込むと有害  
 : H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 : H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 : H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
 : H371 神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎の障害のおそれ  
 : H373 長年にわたる又は反復ばく露による血液系、呼吸器系、腎の障害のおそれ  
 : H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

安全対策 : P201 使用前に取扱い説明書を入手すること  
 : P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 : P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
 : P264 取扱い後は手や溶液が付着した皮膚をよく洗うこと  
 : P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと  
 : P272 汚染された作業衣は作業場からださないこと  
 : P273 使用目的以外に無駄に環境への放出をさけること。  
 : P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

応急措置 : P301+P312 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること  
 : P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと  
 : P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること  
 : P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること  
 : P314 気分が悪いときは医師の診断/手当を受けること  
 : P321 特別な処置が必要である(GHSラベル要素を確認)  
 : P330 口をすすぐこと  
 : P333+P313 皮膚刺激又は発しんが生じた場合:医師の診断/手当を受けること  
 : P362+P364 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること  
 : P391 漏えい物を回収すること

保管	: P405	施錠して保管すること
廃棄	: P501	国及び地方自治体(都道府県市長村)の指示に従って内容物、容器は適切に処理すること

### 3. 組成及び成分の情報

単一化学物質、混合物の区分 : 混合物

成分名称及び含有量	窒素全量	6.8%以上	
	アンモニア性窒素量	2.8%以上	
	水溶性加里	1.2%以上	
	水溶性マンガ	0.100%以上	
危険有害成分	硫酸銅(Ⅱ)5水和物	CAS番号7758-99-8	3.90%
	硫酸マンガ	CAS番号15244-36-7	10%未満

### 4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 目を擦らないこと  
まぶたは開いた状態を保つこと  
出来るだけ早く多量の水で洗浄し、数分間注意深く洗うこと  
洗浄後、医師の診断を受けること
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水及び石鹼で洗う  
皮膚に刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当をうけること
- 飲み込んだ場合 : 口を水で十分にすすぎ、水を飲んで吐き出させ、その後医師の診断/手当をうけること  
被災者に意識がないときは何も飲ませたはならない  
被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢でやすめること  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないように頭部をさげること  
呼吸が困難なときは酸素吸入を行うこと  
物質へのばく露の影響が遅れてでてくることもあるので、経過観察をすること
- 応急措置者の保護 : 本製品が生殖毒性物質を含むことに注意すること  
口対口法を用いてはならない  
救助者は救助の最中、自身の危険にも注意すること  
指定された個人用保護具を使用すること

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特有の消化方法 : 風上から消化する  
火災発生場所には関係者以外立ち入り禁止にすること  
可能であれば熱でさらされた容器を移動するか水で冷却すること  
消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄をし、物質が散らばらないようにすること  
消火後も大量の水で容器を十分に冷却すること

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業時に保護具を着用すること  
作業時に使用する個人用保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照すること  
適切な保護具を着用せずに壊れた容器又は流出物を触らないこと  
適切な換気を行うこと  
粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと  
取扱い後は手をよく洗うこと
- 環境に対する注意事項 : 漏出物及び漏出物処理時の廃液が排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所に流入するのを防ぐこと  
環境への放出は避けること
- 封じ込め、浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止めること  
漏出した液を容器にできる限り集めること  
乾燥させた不燃性の吸着材を用いて集める(ふき取る)こと  
大量の場合、広がらないように堰を作り、後で廃棄すること  
廃棄方法は、「13. 廃棄上の注意」を留意すること

### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 屋外又は換気の良い場所で使用すること  
取扱い場所には関係者以外立ち入り禁止にすること  
指定された個人用保護具/保護衣/保護面を使用すること (「8. ばく露防止及び保護措置」参照)  
使用前に説明書を入手すること  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
作業中は飲食、喫煙をしないこと  
製品の取扱い後及び飲食の前にはよく手や顔を洗うこと  
汚染された作業衣は作業場から持ち出さないこと
- 保管 : 熱/火花/裸火/高温熱源などから遠ざけて保管すること  
施錠して保管すること

直射日光を避けて乾燥した加須通しのよい涼しい場所に保管すること  
食料や資料から離して保管すること

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	: (硫酸銅(Ⅱ)5水和物データ) 日本産業衛生学会(2007年度版) 未設定 ACGIH(2007年度版) 未設定
呼吸用保護具	: 呼吸用保護具は必ず規格に合致したものをを使用すること
手の保護具	: 手の保護具は必ず規格に合致したものをを使用すること 不浸透性保護手袋
眼の保護具	: 眼の保護具は必ず規格に合致したものをを使用すること 安全ゴーグル又は保護眼鏡付き防災面
皮膚及び身体の保護具	: 皮膚及び身体の保護具は規格に合致したものをを使用すること

## 9. 物理的及び化学的性質

外観(形状、色)	: 暗褐色の液体
臭い	: 特有の臭いを有する
pH	: 5.5~7.5
融点、凝固点	: データなし
沸点、初留点	: データなし
引火点	: データなし
燃焼範囲、爆発範囲の上下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重(相対密度)	: 1.2~1.3
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

## 10. 安全性及び反応性

化学的安定性	: 通常取り扱い、貯蔵(直射日光の当たらない室温)において安定
避けるべき条件	: 直射日光、高温表面、混触危険物質
混触危険物質	: 強酸、強塩基
危険な有害生成物	: 二酸化炭素、アンモニア、硫酸化物、窒素酸化物、塩化水素、塩素化物 リン酸化物

## 11. 有害性情報

(硫酸銅(Ⅱ)5水和物のデータを記載)

急性毒性(経口)	: ラットを用いた経口投与試験LD50=960mg/kg(EHC 200(1998))に基づき区分4
急性毒性(経皮)	: データ不足で分類できない
皮膚腐食性、刺激性	: ICSC(2001)ヒト免疫事例の記述に「発赤、痛み」とあることから区分2
眼に対する重篤な損傷、危険性	: ICSC(2001)ヒト免疫事例の記述に「発赤、痛み、視野のかすみ」とあることから区分2A-2B
呼吸器感受性	: データ不足で分類できない
皮膚感受性	: 日本産業衛生学会で銅又はその化合物として「第2群」に分類されていることから区分1
生殖細胞変異原性	: NTP DB (Access on July2006), ATSDR(2004), EHC 200 81998)の記述から生殖細胞invivo 変異原性試験無、体細胞invivo変異原性試験(染色体試験)で陽性、生殖細胞invivo遺伝 毒性試験なしであることから区分2
発がん性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 血液系、肝臓、神経系、腎臓、呼吸器(区分1)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 血液系、腎臓、呼吸器(区分1)、肝臓(区分2)
吸引性呼吸器有害性	: データ不足で分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 硫酸銅(Ⅱ)5水和物の影響により区分1
水生環境慢性有害性	: 生物蓄積性のデータはないが急性毒性の区分より区分1
残留性・分解性	: データ不足で分類できない
生物蓄積性	: データ不足で分類できない
土壌中の移動性	: データ不足で分類できない
オゾン層への有害性	: データ不足で分類できない

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 国及び地方自治体(都道府県市長村)の規則に従って内容物及び容器を適切に 処理すること
------	---

## 14. 輸送上の注意

海上輸送 国連番号	: 3082
品名	: 環境有害物質(液体)

(3/4)

国連分類 : クラス9  
容器等級 : III

#### 15. 適用法令

肥料取締法 : 肥料  
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物質(法第57条の2)  
海洋汚染防止法 : 個品運送PP(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質(政令番号1-207)  
下水道法 : 水質基準物質(法第12条の2第2項)

#### 16. その他の情報

記載内容は現時点入手できる資料、情報に基づき本製品の取り扱い、使用、処理、保管、廃棄、輸送等を安全に行うために作成された資料です。記載されている情報はいかなる保証もするものではありません。  
また本データはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や指定されていない物質との組み合わせ、混合使用に関しては有効ではありません。